

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年2月21日				
放課後等デイサービス 小麦畑						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	小学生、中学生で部屋を分けており、2階の広い遊びスペースやグラウンドもあり、広いスペースが確保されている。	発達年齢に配慮して、現在の2グループから3グループへの支援への変更等も検討していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	2	基準以上である利用者3名に指導員1名の配置を行い、子どもの状態に応じて指導員一人で一人の子どもに対応するなど安全を考慮した支援を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	2	福祉のまちづくり条例に適合する設備となっている。視覚でわかる工夫など、わかりやすい環境づくりを行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	1	毎日の清掃を徹底しており、清潔な状態を保っている。	元保育所の施設で幼児用のトイレであったため、本年2月に学童期に合ったトイレに改修する工事を実施する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	ゆっくりしたい時に1人になれるシェルター機能があるスペースを作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		毎日のミーティングや月に1回の会議で目標設定や振り返りなどを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		評価表や面談等により保護者の意向を把握するとともに、会議等で話し合い、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		面談等で意見等を把握し、必要があれば会議等で話し合い、業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	法人内での研修の他に、外部での研修にもできるだけ参加するようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13		5領域に即した支援プログラムを作成、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		保護者と面談や電話での相談を重ね、ニーズや課題を踏まえ日々の子どもの行動を見た上で、職員間で話し合い計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		児童発達支援管理責任者が作成した個別支援計画により共通の支援を実施できるよう会議で話し合っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		計画を職員間で共有し、共通した支援が行えるよう、日々話し合い改善している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	発達検査の結果などの情報を保護者と共有し、アセスメントに活かしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		「本人支援」「家族支援」「移行支援」に関して支援プログラムの中で意義のある支援を行えるよう取り組んでいる。「地域支援・地域連携」に関しては地域のお店に買い物に行くなど意識して取り組んでいる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		会議で検討し、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		子ども達の希望や職員が取り組みたい支援などを踏まえて、新しいプログラムを増やして、固定化しないよう工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		子ども一人ひとりに沿った支援と、集団として取り組むプログラムに役割を持たせて参加するなど工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	毎日ミーティングを行い、情報共有や役割分担などチームで連携しながら支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13		当日若しくは翌日に職員間で振り返りや情報共有を行い、改善すべき点等を話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		日々の支援を記録し、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しに反映させている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	1	様々なプログラムの中に「4つの基本活動」を意識した支援内容がたくさんある。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13		子どもが自己選択して自分の活動を決めるプログラムや小グループ活動を実施している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		主に児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	2	訪問看護等医療が必要な児童の対応において連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	2	情報共有や、連絡調整が円滑に行われている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13		さくらんぼ園とは、情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	8		他の事業所との交流や地域の活動・行事への参加を考えている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	2	自立支援協議会子ども部会に参画し、研修会等に積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		面談や送迎時に保護者への連絡や情報共有を行い、共通理解を持てるよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4		今後、家族支援プログラムの設定や情報提供の取組を検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		面談時に家族の意向を伺い、日々の支援の中で本人の意向を聞くようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		支援内容の説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		定期的な面談の他、相談には逐一対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	5	保護者会を開催し、活動の様子をスライドショーにして見てもらったり、話し合いの場を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		保護者から苦情などあった場合、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		定期的に小麦畑通信を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		行程表など個人情報が記載されている書類はシュレッターにかけ持ち出さないようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		送迎時や電話等でその都度聞かせてもらっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	10	子ども達の活動の中で、地域の商店に買い物に行くなどの取組を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	2	各種マニュアルを策定し、定期的に避難訓練などを実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	1	入所時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		情報を共有し対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	3	安全計画を作成し、実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		事故があった際には報告書を作成し、ヒヤリハットについてもミーティング時に共有し再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	2	虐待防止研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	身体拘束の事例がない。	